

第18回国労東日本本部マラソン大会

# 交流から組織拡大へ

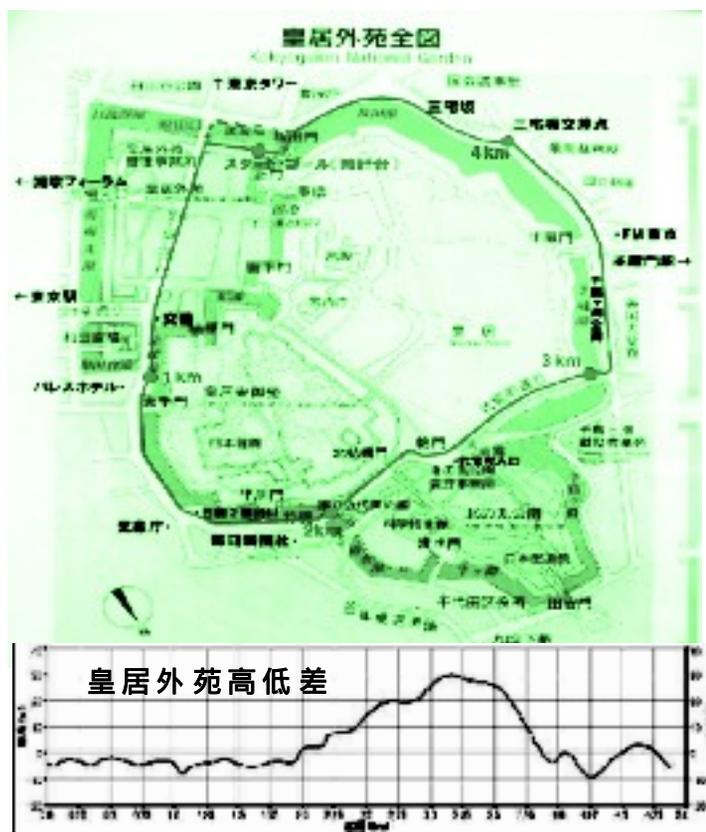
# 国 労 水 戸

国労水戸地方本部  
 水戸市中央1-1-11  
 ENYビル2F  
 029-221-4008  
 発行責任者 菊池忠志  
 編集責任者 坂本公則



去る11月9日(土)、東京皇居外周にて第18回国労東日本マラソン大会が開催されました。当日は雲に覆われ肌寒いコンディションでしたが、近年人気の皇居ジョギングは老若男女問わず多くのランナーが走っていました。

開会式に引き続き、始めに個人戦がスタートし皇居一周(5km)のマラソンが開催されました。松井委員長の合図で一斉にスタートすると、国労ランナーは都心のオアシスを楽しむように颯爽と駆け抜け、日頃鍛えた健脚を披露しました。先頭集団が次々とゴールする中、飯島ひろみ選手は女性で1位に輝きました。日頃の活動同様粘り強さを発揮し、全員完走することが



## 東日本本部 第18回皇居マラソンコース

職場・地域の活動に自信を持ち、引き続き、組織拡大に全力をあげよう！



来ました。続いて駅伝競技(6名)が行われ、チーム水戸からは伊王野資保・豊田貴雄・大津良徳・飯島薫・ひとみご夫妻・中村虹各選手がエントリーしました。1区(伊王野)12区(豊田)13区(飯島ひろみ)14区(中村)15区(飯島薫)16区(大津)と襷をつなぎ完走しました。チーム水戸は、夜勤明けの参加者もあり万全のコンディションでの走りが出来ません

でした。結果も思うようには出ず17チーム中16位でしたが、それでも6人でたすきをつなげ、頑張って水戸をアピールしました。皇居外周というなかなか日頃走れない所を走ったランナー達は満足感にあふれ、互いの健闘を称えあっていました。個人、団体と両方走ったランナーもいて、のどのうるおいを懇親会と車中で補いながら、次期大会へ向け決意を固めました。

## トップアスリートの走りだ



第18回国労東日本マラソン大会で女性1位に輝いた、チーム水戸所属で世界を駆けめぐる飯島ひろみ選手。飯島選手は、日頃の練習が成績に繋がりましたと語っていました。